

施策No.	6111	施策名	議会活動支援の充実	施策主管課長	議会事務局議事課長 大川 俊之
-------	------	-----	-----------	--------	--------------------

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的 「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか		対象指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度
	市議会及び議員	①	市議会議員数			人	26	26	26
施策の目的 「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか		成果指標(意図の達成度を表す指標)	項目	単位	26年度	27年度	28年度	29年度
	議決機関としての権能が十分に発揮できるよう支援する。	①	議員提案件数	目標値	件	2	2	2	2
				実績値		2			
	②	決議・意見書提案件数	目標値	件	3	3	3	3	
			実績値		2				
	③	議会ホームページアクセス件数	目標値	件	13,000	14,000	15,000	16,000	
実績値			13,210						
成果指標設定の考え方	議員提案や決議・意見書が増加することは、議員が積極的に議会活動をしていることの証であり、議会の活性化に繋がる指標と考える。また、議会ホームページアクセス件数は、市民がどれだけ議会に関心を持っているかを測る指標として採用した。			成果指標の取得方法	① 議事課資料(定例会・臨時会における議員提案件数) ② 議事課資料(定例会・臨時会における決議・意見書提案件数) ③ 広報広聴係統計データ				

2. 施策の目標達成度評価

平成26年度施策の取組方針	施策の取組方針・成果指標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>正副議長及び議員が、議決機関としての権能を十分に発揮できるよう支援する。</li> <li>各定例会及び臨時会で提案される案件が、問題なく議決されるよう、執行部と連絡・調整を行う。</li> <li>議会と執行部が、情報を共有できるよう支援する。</li> </ul>	取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 全て達成</li> <li><input type="checkbox"/> 一部未達成</li> <li><input type="checkbox"/> 全て未達成</li> </ul>
	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 全て達成</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成</li> <li><input type="checkbox"/> 全て未達成</li> </ul>

3. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担	
	<p>地方分権が本格化する中で、地方議会改革も機能強化に関する数次の地方自治法改正を経て、各地方議会で自主的な取組が散見される。近年は、市民に開かれた議会(見える議会)を目指した議会情報の公開や議会基本条例制定の動きが広がりをみせている。</p> <p>こうした状況の変化に伴い、本市議会においても、一般質問における一問一答方式の導入、タブレット端末導入によるペーパーレス化などを実施し、今後も市議会情報システムの議会ホームページへの公開、会議のインターネット配信などを予定している。</p>	市民、地域・事業所	行政
			<p>市議会及び議員に対する支援を、次のようにまとめた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 議会運営に対する支援</li> <li>2 議会の監視機能、政策形成能力の向上に対する支援</li> <li>3 議員や会派の議会活動に対する支援</li> <li>4 議会と執行部間の連絡調整</li> <li>5 議会情報の公開</li> </ul> <p>市議会及び議員からの要請に的確に対応できるよう、これらの充実・強化を図る。</p>

4. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	平成28年度施策の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>施策全体としては、すべての事務事業を着実に実行したため、例年どおりの成果を上げることができた。</li> <li>成果面では、佐野市議会活性化検討委員会において、議会会議日程及び質疑通告期限の見直し等を行い、2月定例会から実施した。また、平成27年6月定例会からタブレット端末導入によるペーパーレス化、一問一答方式の導入、一般質問通告書の議会ホームページへの掲載等ができるよう準備した。</li> <li>コスト面では、決算額が平成25年度に比べ14,012千円増額となった。主な要因は、人事院勧告等による議員人件費及び職員人件費の増(13,491千円)並びに佐野市議会活性化検討委員会支援事業費の皆増(600千円)である。また、目的を達成したため、全国高速自動車道市議会協議会を退会した。(△20千円)</li> <li>地方分権が進む中、地方議会も自主的な取組(議会の「見える化」(情報公開)、議会基本条例制定、議会報告会など)が散見される。</li> </ul>	<p>〈平成27年度で解決する課題〉 新庁舎議場での議会(平成27年12月定例会から)に向けたソフト面(一般質問方式の変更等)、ハード面(議場設備、ケーブルテレビ・インターネット中継システム、市民も利用できる会議録検索システム等)の整備。</p> <p>〈平成28年度以降にも引き継がれる課題〉 ・佐野市議会活性化検討委員会への支援 ・(仮称)議会報告会準備委員会への支援</p> <p>〈平成28年度の重点課題〉 平成29年4月に予定されている佐野市議会議員選挙に向け、議会のあり方や議員定数等について、従来どおりでよいか、又は見直すべきか協議を要する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正副議長及び議員が、議決機関としての権能を十分に発揮できるよう支援する。</li> <li>各定例会及び臨時会で提案される案件が、問題なく議決されるよう、執行部と連絡・調整を行う。</li> <li>議会と執行部が、情報を共有できるよう支援する。</li> <li>新庁舎への移転を機に、市民に信頼され、開かれた議会(見える議会)を具現化する。</li> </ul>